

油圧部品の品質保証

実家がアルミニウム  
 鋳造業を営んでいたた  
 め、小さい頃から砂や  
 鉄が身近にあった。こ  
 の影響か、気付けば工  
 業系メーカーで就職先  
 を探していた。就職氷  
 河期で苦戦していた時  
 に知人との会話で知っ  
 た新キヤタピラー三菱  
 (現キヤタピラーシヤ  
 パン)に興味を持ち、  
 入社した。

凛としていきる

理系女性の挑戦

現場と向き合う大切さ学ぶ



出荷直前の20トン級油圧ショベルと

所。三菱重工の職人  
 気質を持ち、品質を五  
 感で判断できるほど感  
 覚が研ぎ澄まされたべ  
 テランばかりだった。  
 私は明石事業所で初  
 めて採用された女性工  
 シニア。聞けば配属  
 の前日まで女性が来る  
 とは知らず更衣室も慌  
 てて準備したという。

しかし、女性だから  
 と言って仕事に関して  
 は一切容赦なく厳しく  
 教え込まれた。「どに  
 かく現場へ行け。現物  
 見て作業者と話しせな  
 わからんやろ！」との  
 教え通り、図面を持つ  
 て工場を走り回り、取  
 引先の製造工程にも足  
 しげく通った。

2年目からは油圧シ  
 ョベルの心臓部とも言  
 える油圧部品の品質保  
 証を担当した。品質問  
 題の原因調査、問題の  
 是正はもちろん、部品  
 の使用可否を判断する  
 ことが一番の重責だっ  
 た。巨大な外観からは  
 想像し難いが油圧ショ  
 ベルはマイクロメート  
 ル(マイクロは100  
 万分の1)単位で管理  
 された精密部品の集合  
 体だ。わずかな加工不  
 良や傷が誤作動の原因  
 となるため、細心の工  
 程管理が要求される。  
 12年に米キヤタピラ  
 ーの完全子会社となり

世界規模での事業展開  
 が急速に進んだ。社内  
 に国際色豊かな人材が  
 増え、社風は一変し  
 た。組織、プロセス、  
 さらに給与の仕組み  
 に至るまで、猛スピード  
 でキヤタピラー式に  
 統一された。

ただ、私の根底には  
 あのベテラン職人たち  
 の教えがある。すでに  
 定年退職されたが、彼  
 らはいつも現場、現物  
 と向き合っていた。ホ  
 ワイトカラーとブルー  
 カラーが鮮やかな欧米社  
 会から見ると私は、ス  
 カイブルグと言った  
 ところだろうか。問題  
 の調査は机上だけでは  
 絶対にできないし、機  
 械の油にまみれて部品  
 を分解することで解決  
 策を探すことは品質を  
 支える上で欠かせず、  
 この仕事の醍醐味だと  
 思う。この思いを後輩  
 たちにつなげたい。

企画協力・日本女性  
 技術者フォーラム(J  
 WEF)  
 (火曜日に掲載)



キヤタピラーシヤ  
 パン 明石事  
 業所品質保証部  
 白澤 孝  
 (プロフィール) 信州  
 大院工修士修了後、02  
 年入社。以来、品質保  
 証部に在籍。